

## 第1節 交流・連携の取り組み

幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を図るための取り組みとして、園と小学校の交流・連携があります。町田市における教職員の交流・連携は、多くの園、小学校で年数回の授業、行事等の交流を指導計画などに位置付けて実施しています。

今後は、保育者と教員が保育参観や授業参観、合同研修など、互いの保育・教育を理解することが円滑な接続を支える重要な取り組みとなります。より充実した取り組みを行うために、その具体的内容について事例を紹介しています。なお、重点的な取り組みに★印をつけています。

## 子ども同士の交流

## ● 園訪問

## 【活動】

1年生（2年生～6年生の場合もあり）が近隣の園に行き、一緒に園庭で遊んだり、紙芝居を見たりして過ごす。

## 【幼保のねらい】

・小学生との交流を通して、小学校への憧れの気持ちや親近感をもつことができるようにする。

## 【小学校のねらい】

・自分たちが楽しむ中で、園児の存在を大切にし、思いやりの心を育めるようにする。  
・あらためて自分たちの成長を実感する場として活動を見守る。

## 【配慮事項】

・（小）交流する園の環境に対して、訪問する人数が多ならないように配慮する。  
・年間に複数回実施できるようであれば、小学生が紙芝居を読む、歌を教える、ダンスを一緒にする、園児が歓迎の歌を歌う、合奏をする（それを聴いてもらう）など、内容について意見交換し、計画を進める。

## ● 学校訪問

## 【活動】

園児が小学校に行き、在校生の案内で施設見学や授業見学をする。

## 【幼保のねらい】

・小学校の中に入り、様々な施設や授業の様子を実際に知ることで、入学への不安を軽減し、期待をふくらませて就学に向かえるようにする。

## 【小学校のねらい】

・自分たちの学校生活の経験を生かし、案内や紹介を言動で表現できるようにする。  
・園児の様子を見て、思いやりの気持ちをもつ。

## 【配慮事項】

・（幼保）小学校までの道のりを経験することも大事にし、事前に安全な歩き方、並び方を話し合い、実践する。

## ● 園児の授業体験

## 【活動】

小学校の教室で、授業を経験する。

## 【幼保のねらい】

・小学校の教室で楽しく過ごし、学校への親近感、安心感を感じとる。  
・小学校の教室での前を向いての座席、前に立つ先生とのやりとりを経験し、小学校生活への前向きな気持ちを育む。

## 【小学校のねらい】

・慣れない園児に寄り添い、手助けすることで、自分の成長を自覚し自信を育む。

## 【配慮事項】

・（小）園児の緊張感を解き、楽しい内容となるように計画を工夫する。

## ● 行事への参加

## 【活動】

こいのぼり集会や運動会、伝承遊び、音楽集会、お楽しみ会などの互いの行事活動や集会に招待し、ともに過ごす。

## 【幼保のねらい】

・小学生と楽しく過ごす経験を重ね、憧れの気持ちをもち、小学校への親近感を育む。

## 【小学校のねらい】

・園児の様子を知り、楽しい活動になるような計画や心配りのある行動で、相手への思いやりの心を育んだり、実際の行動力を培ったりする。

## 教職員同士の連携

### ● 幼保小連携推進協議会

#### 【活動】

市内全域で取り組まれている幼保小連携活動全般について、市内の園と小学校の保育者・教員の中から代表委員を選出し、話し合う（事務局は市が担う）。

#### 【ねらい】

・課題の洗い出しや先進的な活動事例の共有、実践報告などを行う。

### ● 幼保小担当者会議 ★

#### 【活動】

幼稚園、保育所、認定こども園、小学校の指導内容や方法、環境への配慮などを情報交換する。

#### 【ねらい】

- ・それぞれ具体的な内容について子どもたちの実態はどうか、環境や指導にどう配慮しているかを話し合い、互いのよさを知っていく。
- ・現場での活動内容や指導方法の工夫に結びつくよう情報交換をし、接続期の円滑な指導に、役立てていく。

#### 【配慮事項】

- ・接続期に限らず、年間を通して繰り返し実施する。
- ・窓口となる担当の職員を決めることで、継続的に実施できるようにする。

### ● 保育者の学校訪問 ★

#### 【活動】

保育者が小学校を訪問し、学校の様子、小学生の実態を知る。

#### 【幼保のねらい】

- ・生活科を中心とした授業を参観し、接続期の子どもたちにどのように配慮しているかを学ぶ。
- ・小学校の生活、環境、活動の内容、教師の指導の様子などを知り、保育計画の参考にする。
- ・卒園児の小学校での様子を知り、配慮点などを今後の保育や幼保小連携活動に生かしていく。
- ・卒園児にとっては、心を開ける保育者に再会することで、安心感やくつろいだりやりとりを楽しんだり、がんばっている様子を受けとめてもらえたりする機会となる。

#### 【小学校のねらい】

- ・保育者の気になることを聞いたり、感想を収集したり、卒園児に関する情報交換などをして、指導に生かしていく。

### ● 小学校教員の保育参観・参加 ★

#### 【活動】

夏季休暇などを利用して園を訪問し、施設環境を見学したり、保育を参観したり、実際に活動の中に入って、子どもたちにかかわったりする。

#### 【幼保のねらい】

- ・教員からの質問などを受け、園での実態と活動の様子を説明する。具体的に何をどのように配慮しているか、子どもの様子をどうとらえているかを伝える。
- ・意見交換を通じて保育の見直しのヒントを見つける。

#### 【小学校のねらい】

- ・園の実態や園児の発達段階の様子など、5歳児だけではなく、他年齢の園児にも目を向け、子どもの成長と園生活を知る。
- ・実際に子どもたちの中に入り、かかわっていくことで、幼児期の特徴や接続期の大切さを実感し、学校生活や教育内容、指導の在り方の見直しに生かしていく。

### ● 支援・配慮が必要な子どもの就学先小学校との引き継ぎ・意見交換

#### 【活動】

町田市では教育センターで毎年2、4月に「町田市立小学校・幼稚園・保育園・子ども発達センター・特別支援学校連絡協議会」として実施。2月は支援・配慮を要する就学前の子ども様子について幼稚園・保育園・子ども発達センターから小学校へ伝える。4月は前年度の2月の連絡協議会で意見交換した子どもの就学後の様子について、小学校から幼稚園・保育園・子ども発達センターへ伝える。

#### 【幼保のねらい】

- ・支援・配慮が必要な子どもの特徴を長短両面にとらえ、成長過程としての様子を伝える。
- ・卒園にあたって、不安な点や配慮が必要な点（家庭からの情報を含む）を情報共有する。
- ・意見交流で得た気付きを日々の教育・保育に生かす。また、長い目で子どもの成長を見守る。

#### 【小学校のねらい】

- ・支援・配慮が必要な子どもについて入学前に把握し、入学後、一人ひとりに応じた支援ができるようにする。
- ・クラス編成の参考にする。
- ・個々の成長や課題を保育者と話し合い、支援や環境設定の在り方などを見直し、子どもに寄り添った教育活動にする。

### ● 職員の研修会

#### 【活動】

幼保小でのつながりをもち、接続期の教育に関する意見交換、勉強会をする。

### 【ねらい】

- ・就学までに育てていきたい力について、幼保と小学校の双方から意見交換し、活動内容の意味や実態の理解を深める。
- ・直接顔を合わせる機会を設けていくことで、気軽に情報交換、相談しやすい環境をつくる。

### その他

#### ● 行事への招待（職員）

##### 【活動】

園の卒園式や発表会、運動会などに小学校の校長、教員を招待したり、小学校の運動会や発表会などに園長や職員を招待したりする。

##### 【幼保のねらい】

- ・園児やその保護者、または卒園児やその保護者が幼保小の連携を感じとり、入学に安心感をもつ。

##### 【小学校のねらい】

- ・普段の遊びや生活とは違う場面での子どもたちの様子から、実態を知り、長い目で見た成長の過程として小学校での活動に生かす。

#### ● 卒園児の園訪問

##### 【活動】

運動会に卒園児を招待したり、卒園児にとってよい機会を選び、園への訪問を受け入れたりする。

##### 【幼保のねらい】

- ・園への来訪の際には温かく受けとめ、子どもの成長を長い目で見守っていく姿勢でつながりを大切にする。
- ・卒園児の様子をよくとらえ、保育を振り返ったり今後に生かしたりするとともに、気になることがあれば小学校と連絡をとり、積極的に情報交換していく。

#### ● 円滑な接続に向けた助言・支援などの活用

##### 【活動】

円滑な接続に向けたカリキュラム作成のため、幼児教育アドバイザー（※1）などを活用する。

##### 【ねらい】

- ・接続期における教育内容の充実や、幼保小連携の体制を促進する。

※1 幼児教育アドバイザー……訪問等により、各園の教育内容や指導方法、指導環境の改善、幼保小接続におけるカリキュラムの作成について助言・支援を行う者。

## 第2節 交流・連携の進め方

町田市の高ヶ坂小学校、高ヶ坂ふたば保育園、立華幼稚園では、年間を通して、1校・2園で交流・連携をしています。園と小学校の交流・連携の進め方の事例として、高ヶ坂小学校と立華幼稚園の交流会の取り組みを紹介します。

### 高ヶ坂小学校・立華幼稚園の取り組み

#### ◆交流会前後の連携会

交流会の前後には、連携会を実施し、幼児と児童にとって意義のある交流会となるように、意見を出し合います。事前・事後の連携会で気付きを伝え合い、カリキュラムの検証や改善を図っていくことが子どもの育ちにつながっていきます。

11月 なかよし交流会「生活科～お祭り～」園児が小学校を訪問し、交流しました。

##### 【交流会の前の連携】：事前連絡及び確認

「この時期に育てほしい幼児の姿」及び「この時期に目指す児童の姿、活動の内容や相互のねらい」を共有します。

##### 【交流会当日】

幼児と児童のかかわりを大切にしつつ、活動を通して見られる子どもの姿から、育ちや学びの「つながり」を見取ります。

当日は、音楽に合わせて園児が入場し、1年生が拍手で迎えました。子ども祭りでは、1年生が準備した3つのコーナーで、園児と交流しました。また、じゃんけん列車などのゲームをして遊んだり、アサガオの種をプレゼントしたりしました。

ミサンガコーナー、マラカスコーナー、ボーリングコーナー……どこにいこうかな？



おみせやさん、たのしいな！

##### 【交流会のあとの連携】：事後連絡

活動を通して見られた「実際の子ども姿」に照らし合わせて、活動のねらいや内容、「育てほしい姿」などについて互いの意見や情報を十分に交換します。

##### 【カリキュラムの改善】：学年会

意見交換を踏まえ、「この時期に育てほしい幼児の姿」及び「この時期に育てほしい児童の姿」の見直しや活動の内容等の改善を行います。

#### やってみると こんないいこと!!

1年生と一緒に活動したり、小学校の施設を使ったりすることで、子どもたちは、入学前の不安がなくなり、小学校の憧れや希望をもって、伸び伸びと生活できるようになったと思います。また、教員・保育者も「これまでの育ち」と「これから学んでいくこと」の連続性を互いに意識し、日々の教育・保育に生かすようになりました。今後は、定期的な連携会を行うなど、発展させていきたいと思っています。

#### 年間計画予定

学期	日時	連携する人	活動内容
2	9月下旬	関係各園と小学校教員	給食参観及び試食会
2	11月下旬	園児・小学校1年生	生活科の交流(お祭り)
2	12月下旬	保育園児	施設・授業見学
3		関係各園と小学校教員	振り返りと情報交換